

選挙管理委員会事務局長改革manifestoの総括について

(5年間の取組成果)

所属長名：選挙管理委員会事務局長

1 所属長としてのmanifesto取組成果の総括	
この5年間で、本市の方針に基づき取り組みを進めてまいりました。より適切な方策に切りかえたものや新たな課題に対応したものも含めて期間内の目標は達成したものと考えています。	
2 主な取組と成果（代表的な取組成果5つ）	
〔局の使命〕	法に基づく「選挙に関する事務」及び直接請求等の「選挙に係りのある事務」を厳正・円滑かつ効果的に実現すること。
具体的取組	取組成果
経常経費の2割削減 (当面5年間で900億円の削減)	9千2百万円の縮減を行い、2割を達成しました。
職員採用の凍結。当面5年間で5,000人を超える職員数を削減。	予定どおり3名の見直しを行いました。 (ただし、選挙時には時限的増員や短期の応援職員が必要)
勤務形態の多様化 (区役所以外の所属職員の投開票事務への活用の検討・実施)	一部の区において区役所以外の所属職員の応援を得て選挙事務を本市総体で行いました。
市が保有している個人情報の必要性のチェック	投票管理システムの導入により選挙人の個人情報の保護の強化ができました。
政策形成の強化、機能の拡大・充実	区の選挙事務を総務担当へ移管しました。
3 目標達成できなかった取組とその理由	
具体的取組	達成できなかった理由と23年度以降の取組